

保育実践振り返りシート



子どもたちの未来のために



保育実践振り返りシート

平成30年4月改定
令和2年4月増補
令和5年4月増補（イラストのみ）

発行：足立区教育委員会

編集：足立区教育委員会 子ども家庭部 子ども施設指導・支援課

住所：足立区中央本町1-17-1

TEL：03-3880-5395（直通）

FAX：03-3880-5703

Email：kodomo-sidou@city.adachi.tokyo.jp

保育実践振り返りシートについて

- ◆ 足立区教育・保育の質ガイドラインの358項目のチェックボックス（確認項目）を抜き出し、保育実践振り返りシートとして別冊にしました。ガイドラインと合わせて日々の教育・保育の振り返りなどにご活用ください。
- ◆ 「教育・保育者の自己評価」「施設の自己評価」「家庭的保育事業の自己評価」の各様式の参考例を添付しました。ガイドラインの項目を反映していますので、ぜひご活用ください。既存の様式がある場合は項目の見直しなどにお役立てください。

【記入方法】

* 各項目の評価欄（A、B、C、D）に○を付けます。

- A … 理解して十分に取り組んでいる
- B … 概ね取り組んでいる
- C … 理解が不足し十分に取り組んでいない
- D … 取り組んでいない



【使い方】

教育・保育に携わる方は できるところから取り組んでみましょう！


STEP 1

まずは自分で！

自分で「課題だな」「悩んでいるな」と思った項目を目次から選んでやってみる。

STEP 2

クラスで！

自分で考えたこと、思ったこと、話し合っって意見交換したことをシートの  マークに書きとめて振り返りを深める。

STEP 3

みんなで！

施設（園）で「みんなで話し合っみたいいな」という項目を目次から選んで各自でやっってから話し合っってみる。

STEP 4

繰り返し、定期的にする！

例えば、選んだシートを1回目は黒色で○を付け、数か月後に2回目の振り返りをして赤色の○印を付け、年度内に2回行うなど。

参考

参考として、「足立区教育・保育の質ガイドライン」の関連ページを記載しています。基本的な考え方が書かれています。ご活用ください。



施設長（園長）は、「保育実践振り返りシート」を基に職員と意見交換を行い、保育者のさらなる気付きを促し課題をより明確にしましょう。さらに園内研修につなげ、課題改善に向けて話し合う場を積極的に設けていただくようお願いします。

何を確認したいですか？ どんなことを振り返りますか？

(1) 子どもの権利の尊重

- 最重要 子どもの人権について 4 →
- 最重要 虐待行為の確認について 5
- 虐待等の早期発見について 6
- プライバシーの保護について 6



(2) 保育者に求められる資質

- 施設長としての姿勢について 7
- 教育・保育者として 8~9
- 自己評価について 9

(3) 施設の運営体制

- 運営体制について 10

(4) 教育・保育

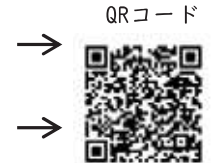
- 全体的な計画について 11
- 指導計画について 12~13
- 保育の環境について 14~16
- 012歳 0・1・2歳児の保育について 18
- 3歳以上 3歳児以上の保育について 19
- 0歳 乳児（0歳児）の保育について 20~21
- 1歳 1歳児の保育について 22~23
- 2歳 2歳児の保育について 24~25
- 3歳 3歳児の保育について 26~27
- 4歳 4歳児の保育について 28~29
- 5歳 5歳児の保育について 30~31
- 食育の計画について 32
- 0歳 乳児（0歳児）の食事の提供について 33



「足立区教育・保育の質ガイドライン」をご覧ください！



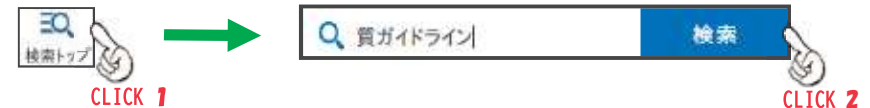
本冊子「保育実践振り返りシート」は、足立区ホームページよりダウンロードできます。ご活用ください。



3ページの◆印の自己評価シート【参考例】は、上記の足立区ホームページから大きいサイズの様式もダウンロードできます。

足立区ホームページでの検索はこちらから

<https://www.city.adachi.tokyo.jp>



問い合わせ・相談先



教育・保育のことでお困りのこと、相談したいことなどありましたら気軽にご相談ください。保育士だけでなく、看護師、栄養士なども一緒に考え、教育・保育施設を支援していきます。

指導検査・巡回訪問・実地調査等	
子ども施設指導・支援課	03-3880-5395
私立幼稚園・私立認定こども園	
子ども政策課 私立幼稚園第一係・第二係	03-3880-6147
私立認可保育所	
私立保育園課 私立保育園第一係・第二係	03-3880-5889
小規模保育事業所・家庭的保育事業者	
子ども施設入園課 地域保育係	03-3880-5428
認証保育所・認可外保育施設(公設民営除く)	
子ども施設入園課 認証・認可外保育係	03-3880-8013
公設民営保育所・公設民営認可外保育施設	
子ども施設運営課 公設民営担当	03-3880-5321
区立直営認可保育所・区立認定こども園	
子ども施設運営課 区立保育施設係	03-3880-5888
就学前教育推進担当課	03-3880-5431
こども支援センター げんき	
支援管理課 発達支援係	03-5681-0134
こども家庭支援課(児童虐待相談)	03-3852-3535

1歳	1歳児の食事の提供について	34
2歳	2歳児の食事の提供について	35
3歳	3歳児の食事の提供について	36
4歳	4歳児の食事の提供について	37
5歳	5歳児の食事の提供について	38
	子どもの健康について	39
	衛生管理について	40
最重要	睡眠中の事故防止について	41
	むし歯予防について	42
最重要	食物アレルギーについて	42
	健康教育について	43
	安全・危機管理について	44~45
	家庭との連携について	46
	小学校等との連携について	47



(5) 支援や特別な配慮を要する乳幼児への対応

発達に配慮を要する子ども、外国籍の子どもの支援について ... 48~50

(6) 保護者、家庭及び地域と連携した子育て支援

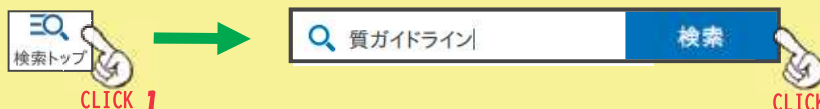
子育て支援について 51

自己評価【参考例】

◆ 教育・保育者の自己評価	52~54
◆ 施設の自己評価	56~59
◆ 家庭的保育事業の自己評価	60~61
問合せ・相談先一覧	62

足立区ホームページでの検索はこちらから

<https://www.city.adachi.tokyo.jp>



QRコードは、63ページにあります。ご活用ください。

保育を振り返ってみよう!


～子どもの人権編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日

	A	B	C	D
子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している				
保育者の言動は子どもに大きな影響を与えることを常に意識している				
子どもに対して一方的な思い込みや偏った見方をしていない				
子どもの良さを積極的に見つけ、ほめたり励ましたりしている				
「何でそんな事ができないの」「片付けない人は遊べません」「また同じような事をやっている」等の否定的な言動をしていない				
呼び捨てやあだ名での声かけ、不必要な大きい声、笑い者にするような言葉、無視をする等の行為をしていない				
おむつ交換、トイレでの排泄、着替え、水あそび（プールでの活動含）、健康診断等の際は、裸のままではないよう配慮し、他者の視線を遮る工夫をしている				
多様な家庭に対して偏見や差別意識を持っていない				
子どもの発達、経験の個人差、国籍、文化の違いに配慮している				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P9

 気づいたことをメモしておこう!



項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
環境	保育者は、自身が子どもにとって重要な環境であることを十分に意識している					
	保育室は整理整頓されている					
	保育室には、一人一人の成長発達を考慮した遊びが準備されている					
愛着形成	子どもにかかわる時は、その子どもに事前に言葉がけをしている。（突然鼻を拭いたり、抱き上げたりしないなど）					
	おむつ交換は声をかけ、スキンシップを大切にしながら行っている					
	子どもは大人の顔色を伺うことなく感じたことや要求を表現している					
健康・安全	子ども一人一人の一日を通した生活リズムを把握し、睡眠・食事・遊びのバランスを考慮して健康に過ごせるようにしている					
	睡眠時チェック表を作成し、睡眠観察を行っている					
	子どもが寝ている時は必ず保育者が保育室にいる					
	保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルを活用し、保育者全員と共有する機会を持っている					
	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えとともに、望ましい食習慣について家庭に伝えている					
	施設内外や散歩先の安全点検、整備状況等を把握している					
	緊急時にも対応できる職員体制を整えている					
保護者支援	子どもの成長発達を保護者と共有できる機会を設けて、相互理解を図っている					
	区や地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭と関係機関につなげている					

年度 家庭的保育事業の自己評価

【参考例3】

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
子どもの権利の尊重	子どもの権利について保育室全体で確認し、十分配慮している					
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない					
	長期欠席の子どもの状況把握をしている					
	子どもの様子で気になることは区及び関係機関に相談している（長期欠席・虐待疑いなど）					
	個人情報保護について保育者全員で確認し、十分配慮している					
	子どもに対しての一方的な思い込みや偏った見方をしない					
保育者の資質	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている					
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した保育実践のための自己研鑽に努めている					
	保育所保育指針を十分に理解し向上心を持って保育に取り組んでいる					
	利用者（保護者）の意見を聞き、改善に努めている					
保育計画	一人一人の子どもの発達や家庭環境を踏まえて個別指導計画を作成している					
	一人一人の子どもの発達状況・月の目標・保育の実態について職員間で定期的に話し合う機会を設けている					
	指導計画に基づく保育を見直し、改善を図っている					

保育を振り返ってみよう！


～虐待行為の確認編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日

		A	B	C	D
虐待等の行為	子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない				
	「今はトイレに行く時間ではない」「今はこのおもちゃで遊ぶ時間です」等、子どもに対して支配的な関わりをしていない				
	食事中に眠くなった子どもを無理に起こして食べさせていない				
	嫌いな食べ物を無理強いして食べさせていない				
	叩く、押し倒す、つねる、揺さぶる等の体罰をしていない				
	子どもを管理するために体を抑える、腕を引っ張る等をしていない				
	4・5歳児は一人一人の状態を把握し、午睡の必要の無い子どもを無理やり寝かせていない				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P9

 気づいたことをメモしておこう！



保育を振り返ってみよう！ ～虐待等の早期発見・プライバシー保護編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日

	A	B	C	D
虐待・ネグレクト等の早期発見				
長期欠席の子どもの状況把握をしている				
受け入れ時や園での生活の中で子どもの様子を確認している（体や衣服が極端に汚れたままである・打撲によるあざや火傷等不自然な傷がある等）				
子どもの様子で気になることを園長や関係機関に報告している（表情や反応が乏しく元気がない・給食やおやつをガツガツ食べる・保育者が何気なく手を上げて身構える・身長体重の著しい増減等）				
登降園時の保護者の様子や連絡帳から気になることを園長や関係機関に報告している（「叩いてしまった」等の報告・子どもの傷に対しての不自然な説明等）				
プライバシーの保護				
個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している				
園からの配布物に子どもの名前を安易に載せていない				
氏名・生年月日・性別・住所・電話番号・家族構成・保護者の職業等の特定の個人を識別できる情報は鍵のかかる場所に保管している				
園内の廊下・園庭・テラス・窓等が開放された保育室や休憩室・バスや電車等の公共機関・飲食店等で個人が特定できる話をしていない				
子どもの写真を掲示、使用するときは保護者の許可を得ている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P10



項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
幼保小連携	0・1歳児からの教育・保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している					
特別支援	記録を基に、どのような場面で子どもが困っているのかを検討し、必要に応じて専門機関(子ども支援センターげんき発達支援係、地域の保健センター等)の助言を受けている					
	子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている					
保護者・家庭及び地域と連携した子育て支援	第三者評価、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている					
	区や地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭と関係機関につなげている					
	施設が実施している子育て支援事業の情報を積極的に発信している					

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
健康・安全	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる					
	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している					
	子ども一人一人の生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている					
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している					
	子どもが睡眠している時は必ず保育者が保育室にいる					
	保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している					
	年齢発達に合わせて、ぶくぶくうがいや正しい歯みがきの方法を指導している					
	家庭や地域との連携を図りながら子どもの健康増進に取り組んでいる					
	早寝早起き、朝食を食べる等の生活リズムを整えるとともに、1日3食野菜を食べる等望ましい食習慣の大切さを家庭に伝えている					
	施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている					
緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている						
子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう、計画的に教育・保育を実施している						


保育を振り返ってみよう！ ～施設長としての姿勢編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日

	A	B	C	D
教育・保育の実施と運営上の根拠となる法令、健康・防災等の関係法令、教育・保育にかかわる倫理等を正しく理解している				
施設長自身が管理者としての専門性の向上に努めている				
地域の状況を把握し、足立区の目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている				
職員の自己啓発や意欲向上につながるよう、動機付けや助言をしている				
保育者の経験年数や長期的な展望を考慮し、資質向上、保育内容の充実のために研修計画を作成して研修に参加させている				
公開保育を利用して教育・保育の様子を観察し合い、保育者と子どもの状況を共有して、子どもとの関わりや保育の環境構成等を学ぶ機会を作っている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P12
「保育実践振り返りシート」 P54

 気づいたことをメモしておこう！




保育を振り返ってみよう！～保育者編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

(2) 保育者に求められる資質

	A	B	C	D
子どもに対して	子どもと一緒に楽しむことができ、積極的に教育・保育に従事している			
	子どもの成長発達の道すじを理解し、一人一人に合わせたねらいをもった援助をしている			
	子ども一人一人の状況を把握し、ありのままの姿を受け止め、見通しをもった教育・保育に取り組んでいる			
保護者に対して	子どもが大人や周りの友だちへの信頼感をもって、自分らしさを発揮し行動できるよう援助している			
	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針を十分に理解し、向上心を持って教育・保育に取り組んでいる			
	保護者の気持ちに寄り添い、子どもの成長と一緒に喜ぶことができている			
保護者に対して	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている			
	多様な家庭に対して偏見や差別意識をもっていない			

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P13、14
 「保育実践振り返りシート」 P52～53、P60～61

 気づいたことをメモしておこう！



項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
教育・保育計画	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう編成されている（職員の参画のもとに作成している）					
	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）をより適切なものに改めていくという姿勢を、全ての保育者が持っている					
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識のもとに作成している					
	一人一人の子どもの発達状況、月や期の目標、教育・保育の実態について職員間で定期的に話し合う機会を設けている					
	就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所児童保育要録）を確実に送付し、情報共有を図っている					
環境	保育者は、自身が子どもにとって重要な環境であることを十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている					
	各保育室は整理整頓され、雑然としていない					
	各保育室には、一人一人の成長発達を考慮した遊びを準備している					
愛着形成	子どもの成育歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている（0・1・2歳児）					
	保育者は一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている					
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している（3歳児以上）					

施設の自己評価

年度 施設の自己評価

【参考例2】

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

項目	内容	評価				意見・改善案
		A	B	C	D	
子どもの権利の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している					
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない					
	長期欠席の子どもの状況把握をしている					
	子どもの様子で気になることは関係機関に報告している					
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している					
教育・保育施設ならびに保育者の質の向上	園長は、地域の状況を把握し、足立区の目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている					
	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領保育所保育指針を十分に理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる					
	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている					
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した教育・保育実践のための自己研鑽に努めている					
	教育・保育実践を互いに見合う等、学び合いの基盤ができています					
	保育者等の自己評価結果に基づいた施設長と職員の話し合いを実施している					
	利用者（保護者）の意見を聞き、改善に努めている					



記入日 年 月 日

	内容	評価			
		A	B	C	D
保育者として	教育・保育の仕事に誇りと責任をもち、自らの人間性と専門性の向上のために努めている				
	職員間のコミュニケーションを円滑にし、共通理解と協働性をもって行動している				
	子どもの視点に立って自己評価を行い、教育・保育の質を向上しようとしている				
	社会情勢や環境の変化について常に関心をもち、時代に適した教育・保育実践のための自己研鑽に努めている				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P14～16
 「保育実践振り返りシート」 P52～53、P60～61

保育を振り返ってみよう！～自己評価編～

	内容	評価			
		A	B	C	D
保育者の自己評価	教育・保育の計画や記録を通して、実践の振り返りをしている（日案・日誌・個別記録・週案等）				
	振り返りを基に、教育・保育の改善を図っている				
	教育・保育実践を互いに見合う等、学び合いの基盤ができています				
教育・保育施設の自己評価	保育者の自己評価結果に基づいた施設長と職員の話し合いが実施されている				
	利用者（保護者）の意見を聞き、改善に努めている				
	自己評価の結果を書面や保護者会等で公表・説明している				
	第三者評価の定期的受審を計画している				

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P15、16
 「保育実践振り返りシート」 P52～61

保育を振り返ってみよう！～運営体制編～



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日

	A	B	C	D
運営事業者として熱意と積極性を持ち、教育・保育理念や方針が明確である				
現場の意見が経営者に届くような組織である				
職員の雇用条件や就業規則等が明確であり、職員の安定雇用のための労働条件（給与水準・休暇制度・休憩時間等）が整備されている				
職員の自己啓発やりフレッシュのための労働環境（人員配置・時間の保障等）が整備されている				
施設長の主任の経験年数や年齢が適切である				
職員の経験年数や年齢等について均衡が取れた組織体制となっている				
看護師や栄養士等の専門職を適切に配置している				
職員が安定的に就業し、生涯を通じて専門性を向上できるよう、期限の定めのない雇用形態となっている				
通常業務内に研修やOJT等に参加したり、情報交換したりする時間を確保できるよう職員体制を整えている				
利用者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、苦情を受け付けるための窓口を設置する等必要な措置を講じている				

(3) 施設の運営体制

参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P17

気づいたことをメモしておこう！





実施時期
【 月】 記入日 月 日 氏名

【記入方法】 各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

※ 園長・副園長のみ

		A	B	C	D
V 園長・副園長の自己評価	園長・副園長（主任）自身が管理者としての専門性の向上に努めている				
	地域の状況を把握し、区の目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている				
	保育者の資質向上、保育内容の充実のために計画的に園内研修を実施している				
	教育・保育の様子を観察し、保育者と子どもの状況を共有している				
 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること					

 気づいたことをメモしておこう！

保育を振り返ってみよう！


～全体的な計画編～

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

記入日 年 月 日

		A	B	C	D
全体的な計画の作成	各施設の理念・方針・目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるように作成している				
	職員が参画し、子どもの発達過程を理解して、人間形成の基礎を養う時期であることを十分に認識して作成している				
	カリキュラム・マネジメントの実施について、教育課程（幼稚園）・全体的な計画（認定こども園・保育所）をより適切なものに改めていくという姿勢を、全ての保育者がもっている				

 参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P18、19

 気づいたことをメモしておこう！



保育を振り返ってみよう！～指導計画編～


実施時期

【 月】 記入日 月 日 氏名



A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない
 B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

	A	B	C	D	
指導計画の作成	一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識の基に作成している				
	子どもの発達や地域の特性をとらえて、長期的な計画（年・期・月）を作成している				
	具体的な日々の生活に即した短期的な計画（週・日）を作成している				
	一人一人の子どもの発達や家庭環境を踏まえて個別指導計画を作成している（0・1・2歳児）				
	個の成長と集団生活での成長を考慮して指導計画を作成している（3歳児以上）				
	長時間にわたる教育・保育について、子どもの発達過程や生活リズム、心身の状態を十分配慮し、施設内の協力体制や家庭との連携等を指導計画に位置付けている				
	創意工夫して保健計画・食育計画・安全計画等を作成している				
	障がいのある子ども一人一人の発達過程や障がいの状態を把握し、適切な環境の下、他の子どもとの生活や遊びを通して共に成長できるように、指導計画に位置付けている				
	入園時に子どもの家庭状況・発育状況・要望等を把握し、定められた書式に記録している				

 参考 → 「足立区教育・保育の質ガイドライン」 P18～21

 気づいたことをメモしておこう！

日々の教育・保育を振り返り、保育者一人一人が今後もより良い施設運営に向けて取り組んでいくために、保育者の自己評価を行ないます。記入後は、園長（施設長等）とのヒアリングも実施します。

	A	B	C	D	
保護者とのかわり	保護者と保育者間で連絡帳や登降園時に、子どもに関する情報の共有がある				
	多様な家庭に対して偏見や差別意識を持っていない				
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している				
	園内の廊下・園庭・テラス・窓等が開放された保育室や休憩室・バス・電車等の公共機関、飲食店等で個人が特定できる話をしていない				
	保護者が意見や相談ができる雰囲気や体制がある				
	保護者からの意見や苦情等を真摯に受け止め、教育・保育の意図や改善を保護者に伝えている				
	 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること				
	子どもの興味・関心に合わせて好きな遊びができるようにしている				
	子どもが自分で遊びだせるように、子どもの成長に合わせた玩具・絵本・遊具等が、自分で選び手に取れる場所に、適切な量で用意されている				
	保育室の装飾・飼育生物・菜園・プランターの植物等、季節感を取り入れる工夫や、自然と関わるができる取り組みがなされている				
 配慮して取り組んでいること、課題と感じていること					